



## 2008NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦蒲郡大会速報 北京代表、山本良介が2連覇を果たす

### 女子は、世界選手権出場の田中が優勝

6月22日(日)、愛知県蒲郡市の蒲郡競艇場特設コースで、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦・2008ITUトライアスロンコンチネンタルカップ蒲郡大会が開催された。

レース当日は朝から時折激しい雨が降っていたが、今大会の開催地である愛知県を拠点とするトヨタ車体所属の選手数名(北京オリンピック代表の山本良介、福井英郎、古谷あかね、大松沙央里)を中心に、ベテランから若手まで日本の有力選手が集まった。

雨脚が強まり出した、午後12時ちょうどにスタートした女子のレース。まずはスイムを得意とする古谷と中島千恵(トーンパートナーズ・チームケンズ)が、ほぼ同時にバイクへと向かう。

バイク序盤では後続と40秒程度の差を付けて順調にトップを走っていた古谷と中島だったが、周回ごとに第2集団に追いつかれ、終盤には田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)や、バイクを得意とする高木美里(レオパレス21)、そして西麻衣子(湘南ベルマーレスポーツクラブ)と浅沼美鈴(愛知県協会)を加えた6名で第1集団を形成した。

そのあとを、今年の世界選手権U23の部で11位になった菊池日出子(チームブレイブ)と、少し遅れて大松が追いかけるが、その距離はなかなか縮まらない。

結局、第1集団はほぼ同時にバイクを終



バイクでトップを走る山本良介(左)と福井

田中 敬子  
NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58



本当はスイムでトップ二人に付きたかったのだけれど、レースを楽しめたので本当に良かった。これで、今年の世界選手権でのフィニッシュできなかったという悔しい思いをはらすことができたと思う。今年の目標はこの勢いのまま、日本選手権で優勝すること。

山本 良介  
トヨタ車体



スイムもバイクに入るときも遅れてしまった。結局追い上げることはできたけれど、福井コーチが引っ張ってくれたことが大きい。やはり自分には足りないものも多い。これから入る合宿に向けての課題もできたので、北京で金メダルが獲れるように頑張りたいと思う。

JTU Official Sponsors & Official Partners



えるが、トランジションからランへ最初に飛び出したのは田中だった。

ランでも雨は降ったり止んだりを繰り返していたが、前日の記者会見で「とにかく、今回はレースを楽しみたい」と語っていた田中は、最後までリズム良く走り抜け、そのまま2時間2分15秒のタイムで優勝。スイムからレースを牽引していた古谷は2位に入り、その後、約1分遅れでフィニッシュした高木が3位となった。

午後1時55分にスタートした男子のレースでは、開始前からさらに激しい雨が降り出していた。

序盤は、久々に平野司 (NTT東日本・NTT西日本) がその実力を発揮。スイムでトップであるが、そのまま後続と約30秒の差を付けて単独でバイクへ向かった。

だが、バイクで山本良介、福井が平野を猛追し、そのまま二人で第1集団を形成。後退した平野は山本淳一 (K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)、疋田浩気 (静岡県協会) とともに第2集団をつくるが、終盤に疋田が遅れをとり、結局は平野と山本淳一で第1集団を追う形になった。

ランに入ってもトップ二人は変わらないが、3位以降に変動が起きる。

バイクで岩井信二 (日本食研)、原田雄太郎 (埼玉県連合) らとともに第3集団にいた高濱邦晃 (チームコラテック) が少しずつ追い上げ、5位、4位と順位を上げていく。それでも福井、山本良介との距離はなかなか短くならないものの、ラン最周回ではトップ二人に次いで3位にまで浮上した。

一方、バイクからランまで、ほぼ同じペースで横並びに走り続けていたトップ二人だが、終盤にじわじわと山本良介が福井を引き離し、最終的には42秒の差を付けて、山本良介が1位でフィニッシュ。2位には福井が、3位には後半に粘りを見せた高濱が入った。

福井と山本良介は、前日の記者会見で語ったとおり、「チームで1位、2位」を制した。

このレースの様子はweb JTU Magazine ([www.jtu.or.jp/](http://www.jtu.or.jp/)) フォトギャラリーでご覧になれます。



男女上位3位までの選手。  
左から福井、古谷、山本良介、田中、高濱、高木

古谷 あかね  
トヨタ車体



地元ということもあり、一緒に働いている会社の人も多く応援に来てくれたのだけど、いま一つ力が及ばなかった。「優勝する」と約束していたので2位でもとても悔しい、申し訳ない。この気持ちを日本選手権ではらして、周りの方たちにも喜んでもらいたい。

福井 英郎  
トヨタ車体



手を抜いたわけではないが、競り合ったなかで山本良介選手に抜かれてしまった。今回は(山本良介選手と)お互い勝つことが当然だという前提で出場したけれど、北京オリンピックに向けた課題も掴むことができた。それを克服できるようにサポートしていきたい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

